

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介しますコーナーがステイ・スマイル(笑顔のままで)です。

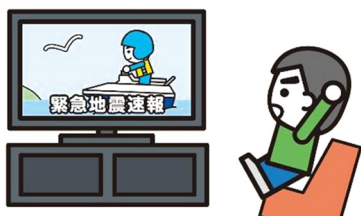
Stay Smile いざその時 ～災害から身を守る～ 総務課 防災危機管理係 ☎62-9326

知っていますか？ 緊急地震速報

地震は突然襲ってきます。ですが、大きな地震が起きたと知ってから実際に激しく揺れ始めるまでに、せめて十秒の時間があれば頭を守るなどとっさの対応を取ることで、大地震の被害をいくらかでも減らすことができます。

緊急地震速報は、大きな地震が発生したときに、地震の発生直後に地震計でとらえた観測データを素早く解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）、予想される揺れの強さ（震度）を自動計算し、大きな揺れが来ることを事前に知らせる警報です。

緊急地震速報は、最大震度5弱以上の揺れが予想されるときに、震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。



「緊急地震速報」発表！

 テレビ・ラジオ	 携帯電話・スマホ	 防災行政無線
●テレビやラジオを視聴している時に、報知音とともに放送されます。	●緊急地震速報を受信し報知音で知らせる携帯電話があります。	●市町村の防災行政無線から報知音とともに伝えられます。

緊急地震速報は、気象庁の発表を受けて直ちに各自治体に設置してある防災行政無線や、テレビ・ラジオのほか、携帯電話（スマートフォンを含む）の「緊急速報メール」などで伝えられます。

携帯電話やスマートフォンで「緊急地震速報」を受信するには、使用している端末によっては受信設定が必要な場合があります。万一に備え、ご契約の携帯電話会社のホームページなどで設定方法を確認し、緊急地震速報を受信できるようにしておきましょう。また、緊急地震速報の報知音が、どんな音かあらかじめ確かめておくこともお勧めします。（報知音は気象庁のホームページで確認できます。）

Stay Smile こんにちは。『地域おこし協力隊』です！

地域おこし協力隊の仲間が増えました！今月は新協力隊員の自己紹介です。

富士見町社協 地域福祉係で地域おこし協力隊として働いている久保有美です。

地域で元気に暮らし続けるための居場所、生き甲斐や健康づくりの拠点となるサロン活動の支援という社会福祉分野での協力隊の募集内容と、富士見町の雄大な自然に囲まれた生活に惹かれ、昨年11月半ばにさいたま市から引っ越してきました。

ちょうど同じ時期に地域福祉係もふれあいセンターから旧落合小学校に事業所を移転したので、まずはこの地域から・・・とお披露目会に始まり、現在は平日毎日のラジオ体操や、校長室を利用して定期的にサロンを企画・開催するなど、地元住民の方たちが気軽に集まれる場を作るべく活動しています。

また、先月より道の駅に登録し、栗生サロンの皆さんと作った編み物・手芸品の販売も始めました。富士見には年を重ねてもまだまだ元気で頑張っている方たちがたくさんいます。それをもっとたくさんの人に知ってもらいきっかけになり、また、これが皆さんの張り合いややる気に繋がればと思っています。こちらはまだ栗生サロンですが、今後は出品する商品もサロンも増やしていく予定です。

まだ数ヶ月、試行錯誤の毎日ですが、地域の皆さんにとっても良くしてもらい、毎日楽しく働いています。これからもっと活動の範囲を広げていくつもりですので、どうぞよろしくお願いします。



◆株式会社 花の大和

㈱花の大和は奈良県天理市に本社を構える総合園芸企業です。創立は古く大正年間にまで遡り2020年には創立100周年を迎え、取扱品目は球根、花苗、野菜苗、花木、宿根草苗、種子類と多岐に亘ります。

その中で八ヶ岳西麓の気象・流通等、植物栽培に適した富士見町で立沢地区のガラス温室を3棟お借りして平成25年4月から宿根草苗を中心に富士見農場として生産を始めました。宿根草とは寒さに強く一度植付けると毎年花が楽しめる草花の総称で、主にジギタリスや西洋芍薬等、約350品種を富士見農場にて一括生産しています。国内の宿根草市場は一年草中心の花壇苗の市場に比べまだまだ売上規模は小さく、ようやく市場が形成されつつある段階と言えます。現状としては宿根草の認知度アップ、使い方の提案など啓蒙活動も合わせて行いながら販売しています。

富士見町に生産拠点を移してから、平成26年の雪害等、様々な困難もありましたが、町地域の皆様、生産者仲間の手助け、ご協力により生産量、出荷量も順調に伸長しています。

昨年には富士見高原リゾート様に宿根草を使ったガーデンをゲレンデ内に造っていただき、順調にいけば今年は花の回廊ができると思います。また弊社農場にもモデルガーデンがあり、開放しておりますのでお気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

今後、農業は高齢化や人口減少による人手の確保、気象環境の変化等、困難なことが多々あると思いますがお客様のニーズを捕え、お客様に愛される商品を供給していくことで『富士見育ちの宿根草』を全国の方に知っていただき、この富士見町が『宿根草のふるさと』と言われるよう一歩ずつ着実に取り組んでいきたいと思っています。



Stay Smile 子育てはたくさんの笑顔とたくさんの手で ～子どもの場所から～

NPO法人ふじみ子育てネットワーク ☎62-5505

小学校放課後のあそびば流6年生を送る会

3月、本郷小学校放課後のあそびばでは、その年の最後の回に、いつもよりちょっとだけ特別なおやつづくりをしています。一年の最後ということと、6年生を送る気持ちとでそうしています。5年ほど前、その当時4、5年生だった子どもが、一年の最後のあそびばでは6年生のためにおやつを自分たちだけで作りたい、と言い出したことが始まりです。メニューをスタッフと子どもたちとで相談して決め、当日は子どもたちがスタッフにわからないことを聞きながら、とても楽しそうにおやつを作っていました。6年生に、特に「ありがとう」や「元気で」と言うわけでもありませんでしたが、6年生のために楽しそうにおやつを作っている様子で、別れを惜しむ気持ちや感謝の気持ちは伝わったように感じました。ある年は、卒業する6年生が、自分たちが作ってみんなに振る舞いたいと言って作ってくれたこともあります。

さて、今年は子どもたちのリクエストが多かった「お好み焼き」で6年生を送りました。あそびばの開設している2時間の中で約60名分のお好み焼きを焼かなければいけないので、キャベツのみじん切りだけはスタッフがあらかじめ準備しましたが、あとは当日子どもたちが進めました。生地は4年生の女子たちが粉や調味料、水の量をスタッフに確認しながら作り、鉄板いっぱいのお好み焼きを切るのは6年生。焚き火が鎮火しないように薪をくべてくれたのは低学年の男の子達。自然に役割分担して、無事美味しいお好み焼きがみんなの口に入りました。みんな笑顔でほおばっていました。子どもたちが自由に過ごす場では、ケンカをしたりお互い不愉快に感じたりすることも少なからずあります。それでも毎回誰かしらがおやつを作りそれをみんなで食べる事を繰り返す中で、全員があそびばの仲間になっていきます。その仲間に「おめでとう」「ありがとう、みんなも元気でね」と気持ちを伝え合うのにも、またおやつづくりが一役買います。こういった体験や子ども同士の関わりが子どもたちの原風景として心や体に蓄えられ、育ちの栄養になってくれることを願っています。

